

令和2年度 社会福祉法人めだかすとりいむ 事業報告

新型コロナウイルスは猛威を続け、令和2年度も新型コロナウイルス対応に集中した一年でした。

すいーつばだけの売り上げや MICS の利用数が減少し、感染防止対策と利用者の活動の保障との両立に悩んだ年度でもありました。

年度後半は、コロナ禍のこんな時期だからこそできることに少しずつ目を向けることができるようになってきました。

メンバー、職員の健康、安全を第一に考えるとともに、障がいのある人の豊かな地域生活を支えるためにできることをこれからも模索していきます。

【法人の理念と運営方針】

理念

『せっかく生まれてきた一度きりの人生をこの街の中で一緒に豊かに生きていきたい』

この想いを具体的に一つ一つ形にして支え続けていきます

運営方針

- ・就労支援・一生懸命に働くことを通しての社会参加を支える
- ・生活支援・地域の中で自分らしく豊かに暮らすことを支える
- ・余暇支援・好きなこと・趣味を見つけて楽しむことを支える
- ・子育て支援・発達の遅れや心配のある子供たちの療育と地域の中での子育てを支える

この4つの支援を充実させることによって、障がいのある方の地域での生活を支えていきます

2020年度 重点目標

『ピンチをチャンスに』

1. 安定した経営

① 法人自体の経営強化

コロナ禍で収入の減少が顕著にあらわれたのは下記の2事業でした。

- ・すいーつばだけの授産製品売上の減少

⇒クッキーのお中元、お歳暮、定期文化祭注文など大口のお客様からの注文は安定してありました。

個人注文やバザー販売の売上減少を補填するために通信販売に力を入れました。おかげさまで売上が好調に推移しています。

- ・MICSの依頼減少に伴う、支援費収入の減少

⇒新型コロナウイルスの感染防止対策を講じ、利用できる施設や地域を制限しました。ヘルパー

向けに感染防止対策の研修を実施したり、屋外での安全な活動を提案したり工夫しながら運営しました。

障害福祉サービスの支援費収入について（MICSを除く）

コロナ禍で各部門、閉所、分散登所の措置をとりました。その間の支援費収入は国の特別措置を活用し、電話・メール・動画でのやり取りによる支援をすることで安定した支援費の収入を確保することができました。

2. 新型コロナウイルス感染防止対策

- 引き続き、検温・消毒の徹底をはかりました。また、アクリル板の設置、給食時の黙食の徹底など知恵を出し合いながら感染防止対策に取り組んできました。
- クラスターが発生した他法人の話聞く研修会（リモート）に参加し、めだかすとりのBCP作成の参考にしました。
- PCR検査キットを大量購入し、発熱者や体調不良者に迅速に対応できるようにしました。
（コロナの感染防止対策保障助成金を活用）
- 感染者、濃厚接触者が発生しましたが、早急にPCR検査キットを活用して陰性を確認したり、勤務日にあたっていないこと、初期動作が万全であったこと等から感染が広がることはありませんでした。
- 職員・パートの休業補償は、国の保証制度を活用し100%保証することができました。

3. 職員の定着（働きやすい職場づくり）

年間研修計画をたてましたが、コロナの影響で中止が相次ぎました。

- 年度後半は、リモートでの外部研修に参加したり、所内研修や職員会議等をZOOMを使用し行うことができました。
- 初任者研修は実施することができました。めだかすとりの理念を理解し、より良い支援を実践できる職員育成を今後も心掛けていきます。
- 1～2年目の新人職員に対し、主任職員による定期面談を実施しました。各職員の課題や目標をそこで明確にし、職員のモチベーションにつなげることができました。
- 埼玉県発達障害福祉協会主催の『新型コロナウイルス対応研修』に参加し、実践に活かせる有意義な研修を受けることができました。

4. 修繕改築計画の実施と計画表の作成

修繕計画を立て、優先順位をつけながら修繕を計画的に実施することができました
（別紙参照）

5. サービスの質の向上

コロナ禍でのメンバーへの影響が懸念された年度でした。生活上の制限が多く、生活リズムが安定しない中のメンバーの感じる閉塞感は、とても強いと思います。

メンバーに寄り添い、丁寧な支援を心掛けました。

6. 理事会・評議員会の開催

【理事会】 第1回 5月21日
第2回 7月15日
第3回 10月14日
第4回 3月25日

【評議員会】第1回 7月30日（文書評議員会）
第2回 3月29日

7. 運営協議会の開催

8月29日 めだかの『つながルーム』で開催されました。
新型コロナウイルス感染防止策についてなど活発な意見交換がされました。

8. 部門別

① すいーつばたけ

- 新型コロナウイルスの影響により、商品の売上が減少し、メンバー工賃を維持することが出来ませんでした。ボーナス、月の給料共に減額となりました。今後は給料回復のために最大限努力していきます。
- クッキーの通信販売（楽天）に力を入れました。バザー販売の売り上げ分を通信販売で達成し、毎月30～50万円の売り上げを目指しました。
- めだかSUN利用者1名がすいーつばたけの利用を開始しました。
- 表現の時間の充実をはかりました。埼玉県のアート展にメンバーの作品が出展されました。今後は著作権の整備、メンバー工賃につながる取り組みに力を入れていきます。
- HACCPの対応が必要となり、各部門主任が中心となり準備を進めてきました。R3年度にはマニュアル、点検表共に整備し、日々の衛生管理に活用する予定となっています。
- 法改正による商品の期限シールの変更に取り組みました。どの商品にも対応できるものが完成しました。

① グループホーム

R2. 10～ さくら館の土日の運営日を増やしました。
土日のグループホームでの余暇の過ごし方などについて話し合いを重ねました。365日開館に向けての課題も明確化し、今後取り組むべき課題が見えてきました。
また、スタッフの確保に苦慮し続けた年度でした。スタッフの高齢化、健康管理などの課題も見えてきました。

② 相談支援センターめだか

パート職員を増員し、相談内容の困難化、相談件数の増加に対応しました。

今後は、川口市からの委託費が増額されたことに伴い、地域のニーズの掘り起こしへの具体的な取り組みを検討する必要性が出てきています。

③ 地域活動支援センター「めだかSUN」

新規の利用者が増えています。相談支援センターやグループホームとも連携しながら、豊かな生活を送る支援を継続していきます。

④ 居宅介護事業所「ぐー・ちょき・ヘルパーMICS」

新型コロナウイルスの影響で依頼数の減少が顕著でした。(1-①参照)

⑤ 児童発達支援事業「めだかのいっぽ」

リモートを活用し、就学相談や保護者会、勉強会を開催することができました。

今後も母子登園、兄弟保育の必要性を再確認しながら、利用児童の確保に努めます。

⑥ 放課後等デイサービス「めだかのいえ」

令和2年5月に新規オープンしました。立地条件の良さが強みとなり、のびのびとした活動を行っています。コロナ禍で保護者や家族との交流イベントが開催できませんでしたが、めだからしい放課後等デイサービスを目指し、今後も活動していきます。

9. 事務局部門

○職員の定着を目指し、給料のベースや評価制度を検討するため、独立行政法人福祉医療機構のコンサルティングを導入しました。

『理事長の職務・職責明文化プロジェクト』について検討し、成果物が完成しました。

○新型コロナウイルスに対応するため、行政の補助金申請（物品購入など）を積極的に行いました。

○赤い羽根共同募金の助成金の認可があり、全館のエアコンを交換しました。

10. 地域との結びつき

新型コロナウイルスの影響で、行事・イベントは開催できませんでした。

11. NPOめだかふぁみりいとの連携

工夫を重ねて開催された活動へ参加しました。

行事、イベントは開催できませんでした。